

令和5年度長野県工業技術動向調査結果の概要

産業技術課

1 調査概要

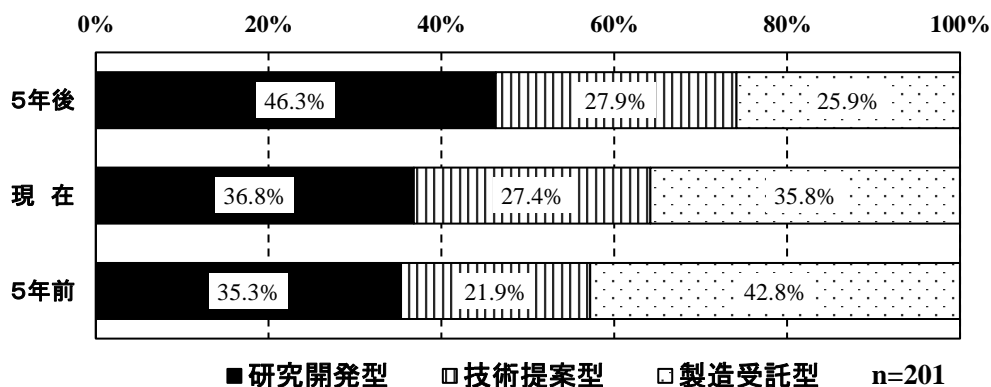
- (1) 目的 県内製造業の工業技術に関する最近の動向を把握し、今後の技術支援施策に反映する。(隔年実施)
- (2) 時期 令和5年8月から10月
- (3) 方法 工業技術総合センター職員による訪問、メール、電話等での聞き取り調査
- (4) 対象 県内企業201社
- (5) 業種 飲食品：食料品製造業、飲料・たばこ・飼料製造業（40社）
電機等：飲食品を除く製造業（161社）

2 結果概要

(1) 全業種

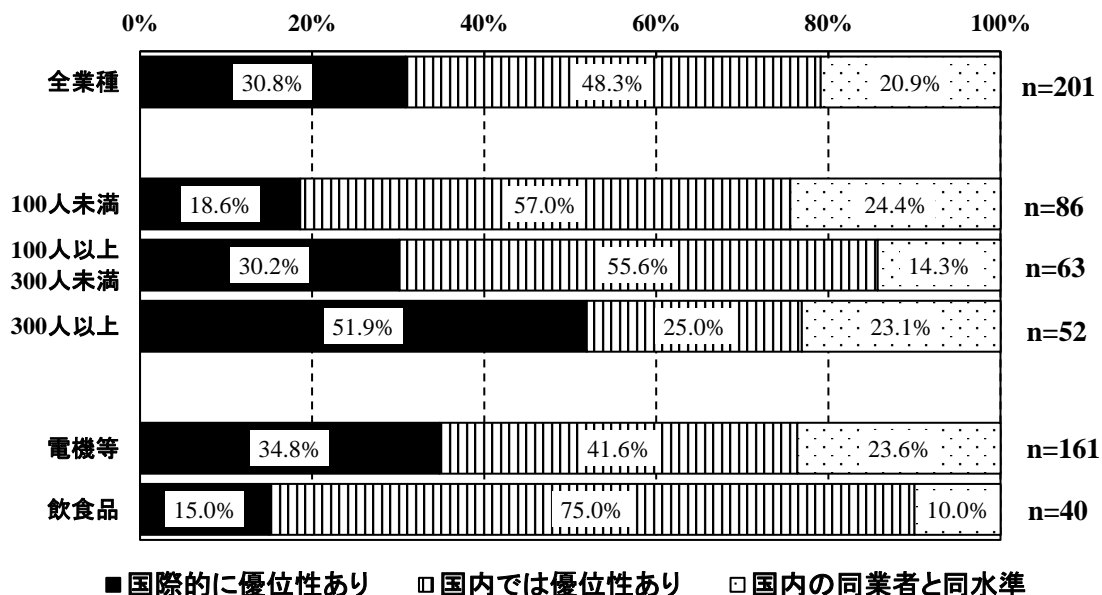
ア 事業形態の認識

- ・「研究開発型企业」は、「現在」の36.8%から「5年後」は46.3%と増加した。
- ・「製造受託型企业」は、「現在」の35.8%から「5年後」は25.9%と減少した。
- ・「5年前」との比較でも同様となった。



イ 最も強みのある技術の優位性

- ・「国内では優位性あり」が48.3%、「国際的に優位性あり」が30.8%、「国内の同業者と同水準」が20.9%の順となった。
- ・従業員数が多いほど、「国際的に優位性あり」が多かった。
- ・業種別では電機等が、「国際的に優位性あり」が多かった。

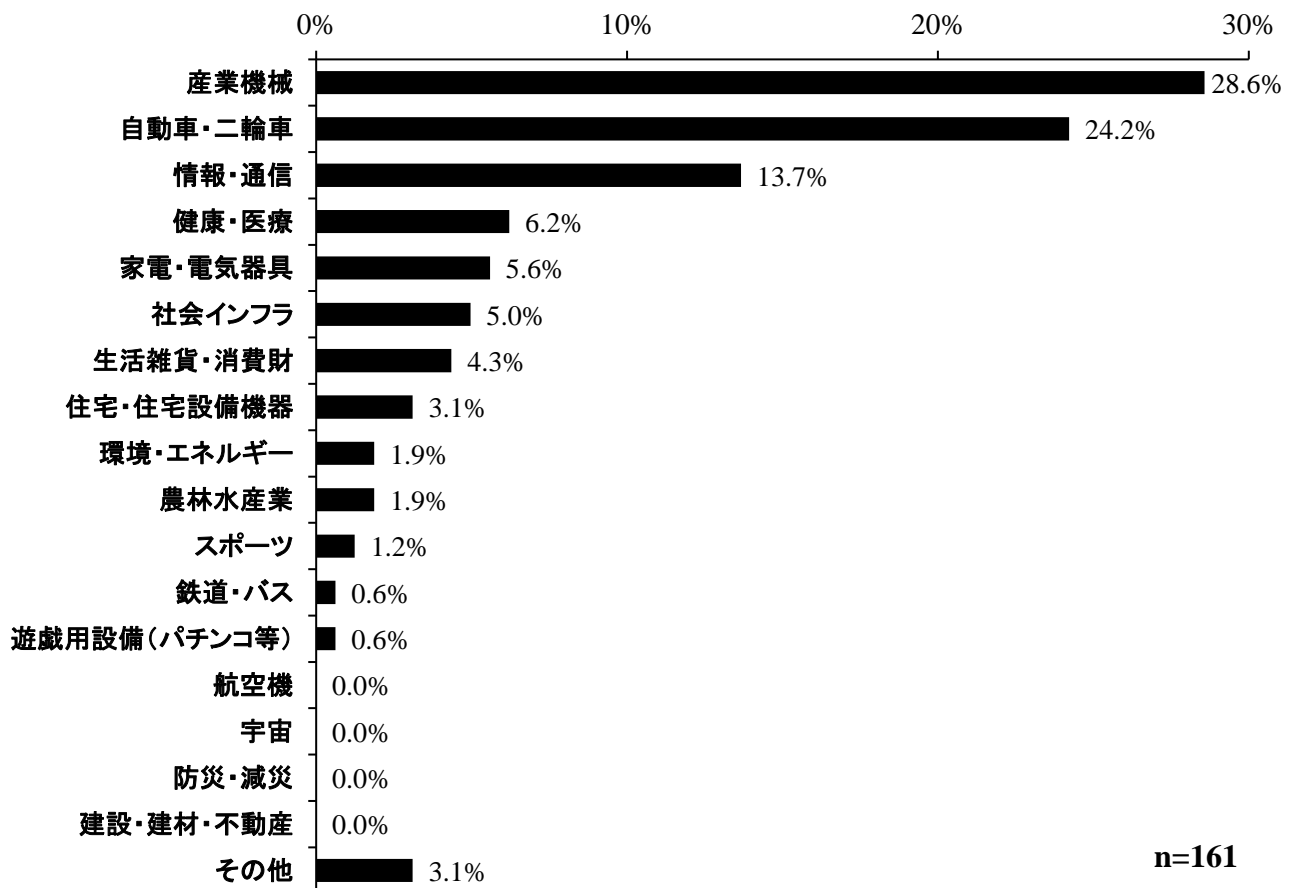


(2) 電機等

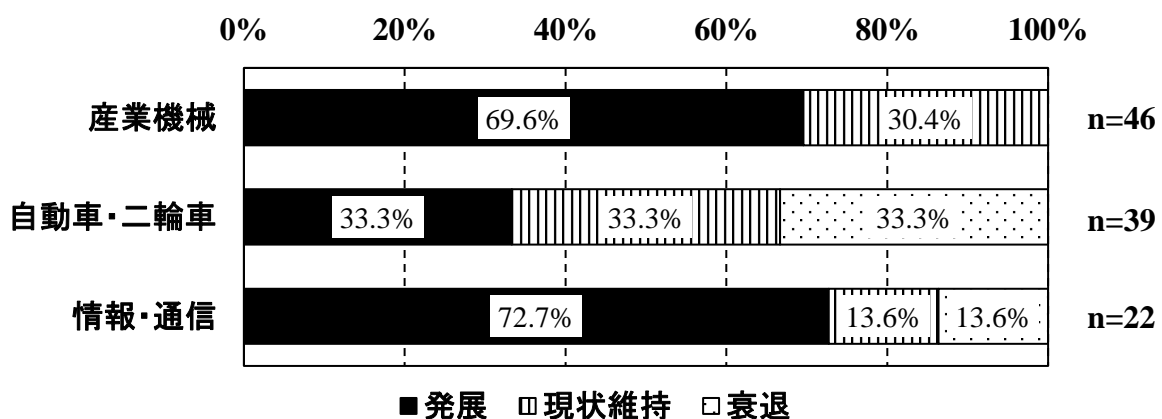
ア 最も売上が多い産業分野

- ・「産業機械」が 28.6%と最も高く、「自動車・二輪車」が 24.2%、「情報・通信」が 13.7%の順となった。
- ・「5～10年後の展望」は、最も売上が多い産業分野の内、「自動車・二輪車」については「発展」、「現状維持」、「衰退」が 33.3%と意見が三分された。一方で、「産業機械」「情報・通信」については「発展」が 60.0%以上だった。

電機等：産業分野

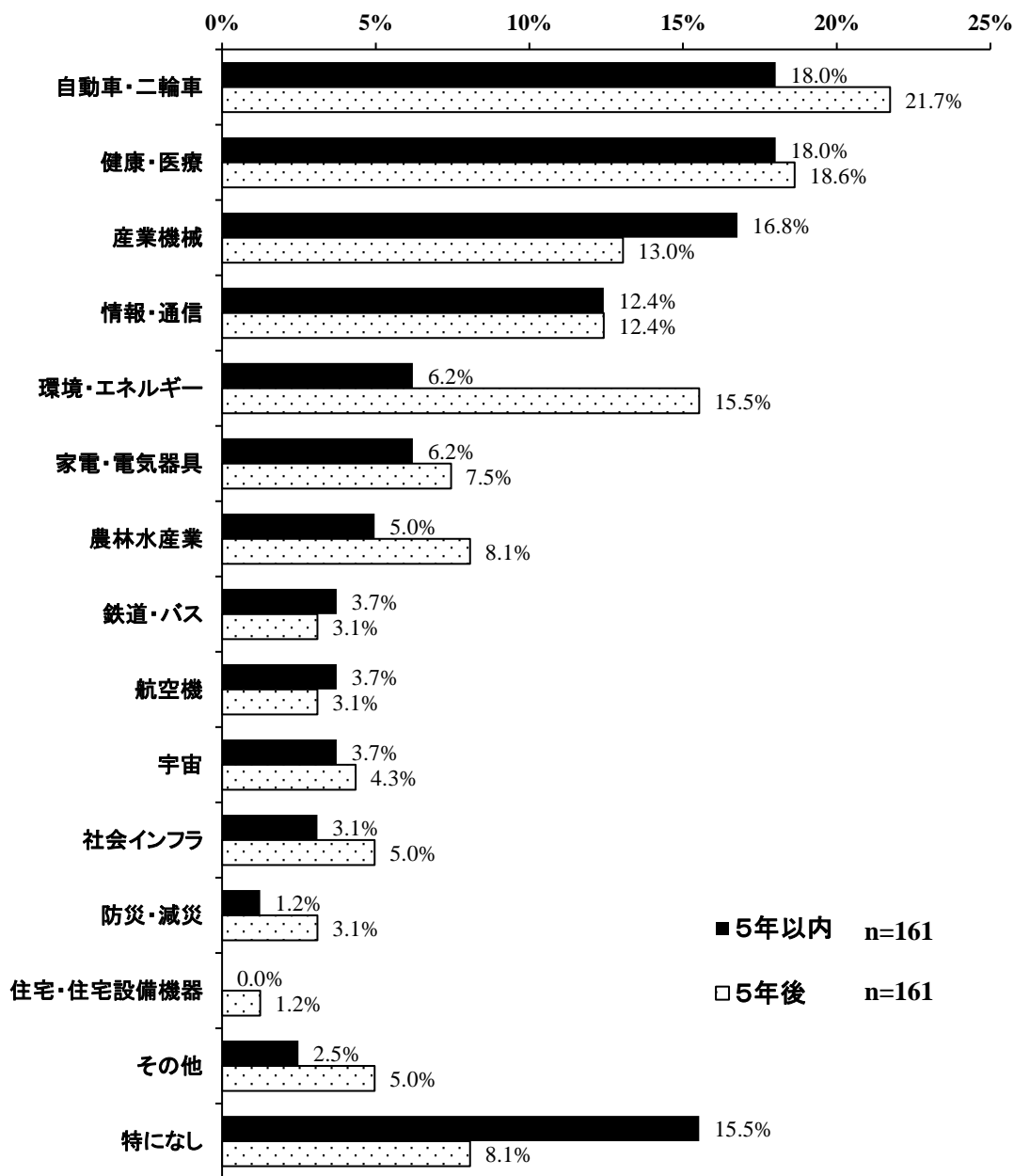


5～10年後の展望



イ 新たに関わり始めた産業分野（複数回答）

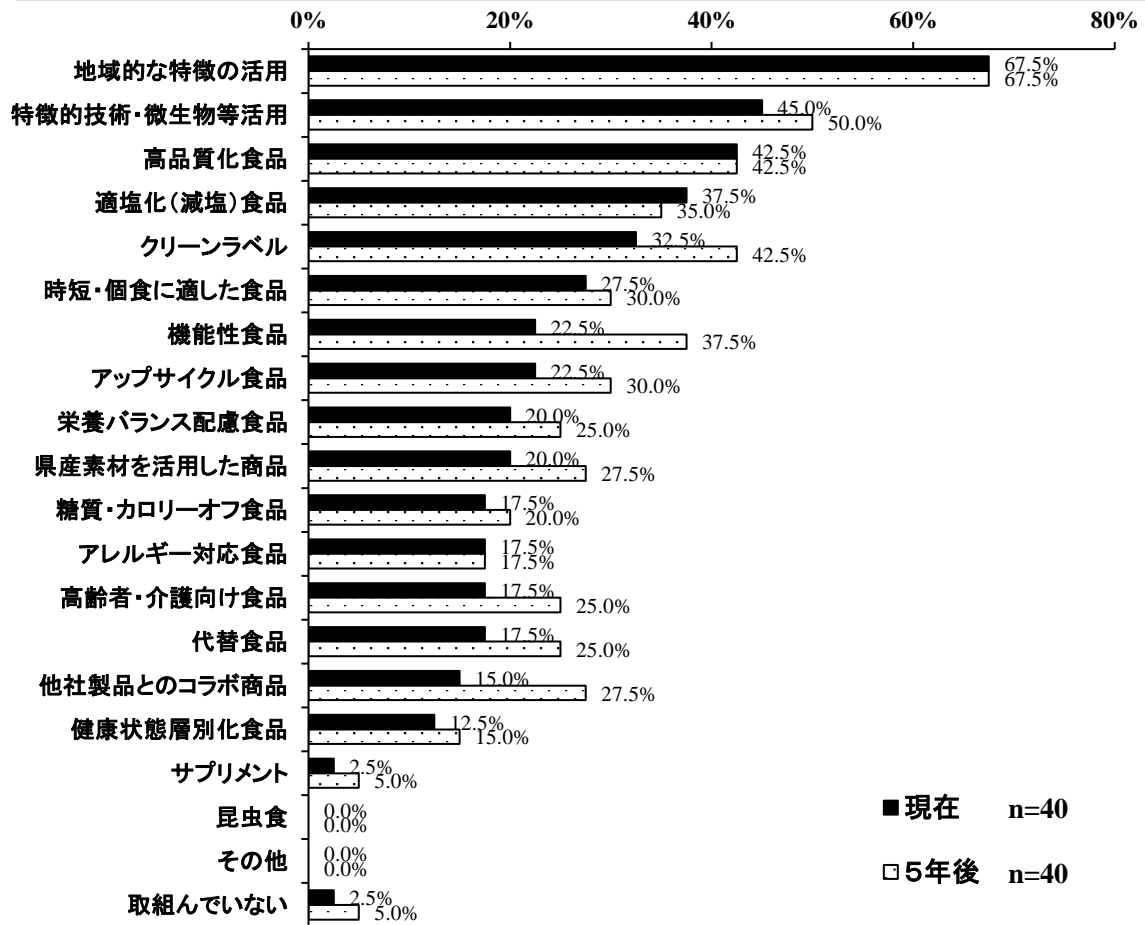
- ・ 5年以内に新たに関わり始めた産業分野は、「自動車・二輪車」「健康・医療」が18.0%と最も高く、「産業機械」が16.8%、「情報・通信」が12.4%の順となった。
- ・ 5年後新たに関わりを強めたい産業分野は、「自動車・二輪車」が21.7%と最も高く、「健康・医療」が18.6%、「環境・エネルギー」が15.5%の順となった。



(3) 飲食品

ア 食品開発の取組（複数回答）

・ 5年後に取組みたいことは、「地域的特徴の活用」が67.5%と最も多く、「特徴的技術・微生物等活用」が50.0%、「高品質化食品」「クリーンラベル」が42.5%の順となった。



イ ブランド力向上のための取組（複数回答）

・ 5年後取組みたいことは、「全国、県品評会等への出品」が67.5%と最も多く、「HP、ECサイト、SNSによる発信」が65.0%、「県内産原料、地域資源の活用」が60.0%の順となった。

